

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を共有している。	○	法人の理念を基本として独自の理念をつくる。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念である感動満足を、皆様に感じていただけるよう取り組んでいる。		事業所に関わるすべての方に、感動満足を感じていただきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の方が集まるイベントの際、挨拶の中で施設長が話しをしている。	○	理念について理解していただき、地域に浸透していけるようにする。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	出勤や退勤時、またご利用者との散歩の際等、挨拶したりや気軽に声をかけていただいている。	○	日常の中で、立ち寄っていただけるよう努める。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の様々な自治会と定期的な交流を持ち、事業所の行事にも参加していただいている。		交流の機会を増やし、地域の一員として根づく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者と接する機会がほとんどなく、暮らしぶりの把握が難しい。</p>	<p>○</p> <p>地域の高齢者にとって何が必要か、話し合いの場を設ける。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価を活かし、できる事から少しずつ改善している。</p>	<p>○</p> <p>今回の評価も、今後の運営に活かしていきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>参加者の意見を参考にして、ご利用者の生活に活かしている。</p>	<p>○</p> <p>たくさんの意見が出るよう、会議を活用する。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要な事については、市役所の担当者とFAXや通知等でやり取りしている。</p>	<p>○</p> <p>サービスの質の向上のため、連携を図り情報交換をしていく。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加した職員からの報告を聞いたりしている。今後必要があれば、活用していきたい。</p>	<p>○</p> <p>制度について学び、活用できるようにする。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>参考資料等を読み、参考にしている。</p>	<p>○</p> <p>法律について理解し、虐待防止に努める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際、重要事項や契約内容について十分説明を行っている。	○	入居の前にも説明を行い、契約の際にはさらに詳しく説明するようにする。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	皆様のご意見等については、運営推進会議の際報告している。	○	運営にも反映させ、満足を感じていただけるようにする。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に報告をしたり、写真も御覧いただいている。	○	職員の提案や意見を取り入れ、報告の仕方を工夫する。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置している。	○	委員会で検討し、運営に役立てている。外部者へ表せる機会も設けていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回会議を開催し、意見を聞いている。日頃からコミュニケーションをとり、意見や提案を聞くようにしている。		職員のやりたい事ができるような運営をする。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者の状態に合わせ、勤務時間を調整している。		ご利用者の状態に合わせたシフト作りをする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しい職員にはご利用者の情報を前もって伝えている。馴染みの関係を築いてから直接的な支援にあたり、時間をかけて信頼関係を築くようにしている。</p>	<p>○</p> <p>離職しない職場環境を整える。異動も最小限にとどめる。</p>
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の能力に応じ、職場内や職場外の研修に参加する。</p>	<p>研修で学んだ事を事業所内で活かし、職員のスキル向上をめざす。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修参加の際交流する機会を持ち、次につながるようにネットワーク作りをしている。</p>	<p>情報交換を通じ、サービスの質の向上に役立てる。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日頃から少しの時間でも話を聞いたり、表情や仕事ぶりに気をつけている。</p>	<p>○</p> <p>職員が何でも気軽に話せるような環境を作る。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員からの提案があり、実践できるようにしている。目標を持ち、努力できるよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>個々の実力が十分発揮できるような職場環境をつくる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人に直接お会いし、話をしている。		1度きりでなく何度かお会いして、お話をうかがうようにする。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	生活歴を聞き、ご家族との関わりについても聞いている。	○	お一人だけでなく、ご本人に関わる方の情報を得る。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅のケアマネージャーと連携をとり、対応している。	○	他事業所とも連携をとり、必要とするサービスが提供できるようにする。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学していただいたり、必要な場合は併設のショートステイを利用している。		ご家族と良く相談し、その方にあったやり方で馴染んでいただく。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員や業務中心にならず、ご本人の生活を一番に考える。	○	作業や休憩の時間を一緒に過ごす。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員とご家族が協力しご本人を支えていけるよう、情報の共有に努めている。		小さな事でも相談し、ご本人を一番に考える。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事に参加していただいたり、気軽に面会に来て下さるような雰囲気をつくる。	○	生活歴を理解し、それぞれのご家族にあった支援をする。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会にお越しいただいたり、ご家族が同行して馴染みの場所に行ったりしている。	○	職員も同行し、ご本人の生活していた環境を知る。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々の様子を見ながら、さりげなく支援している。ご利用者それぞれ個性があり、難しい場合もある。	○	個々の意思を尊重し、場合によっては職員が中に入るなどして良い関係作りができるようにする。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	死亡により退所された方には、花をお持ちしたり線香をあげにうかがうなど、折に触れてつきあいを継続している。	○	定期的に手紙などで連絡をとり合うような関係を作る。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別ケアの実践、ご本人の思いを大切にしている。	○	共に暮らす事で、ご本人の言動から希望や意向を把握できるようにする。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から情報を得て、把握に努めている。ご本人からも話を聞く。		職員間で情報を共有する。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	過剰な支援をしない。日々の記録等を参考にして	○	職員間で統一したケアを実践する。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日のご本人の言動や家族の状況を考慮し、計画を作成している。	○	ご本人の思いが反映できるような計画を作成する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しを行っている。その他大きな変化があった時には見直ししている。	○	見直しを行う場合には話し合いの時間を十分設け、現状に即した計画を作成する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録から状態の変化に気付く事ができ、計画の見直しに活かせる。	○	情報を共有し、ご本人の意向に沿った計画を作成する。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	フットエステの実施やデイサービスでのレクリエーションの参加等、できる範囲で活用している。	○	他事業所と連携をとり、ご本人の支援に活かす。
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	委員会を中心として活動している。	○	ご利用者の意向を把握し、地域資源を活用していく。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅のケアマネを通じて、他事業所のケアマネとの連携をとっている。	○	日頃から積極的に地域のケアマネと連携をとる。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は必要性がないため、地域包括支援センターとの協働は行っていない。	○	今後、必要に応じて協働していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医については、ご家族と相談して決めている。必要に応じて状態の報告をしたり、受診の同行をしている。</p>	<p>連携をとり、急変時にも対応していただく。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医に相談し、場合によっては専門医を紹介している。</p>	<p>医師と連携をとり、協力していただく。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>併設特養やデイサービスの看護師と連携をとっている。</p>	<p>○</p> <p>日頃から健康状態を知ってもらい、急変時にそなえる。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時はまめに面会を行い情報を得て、退院後の支援がスムーズにできるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>医師との連携をとる。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い段階から主治医や家族を含めてカンファレンスの場を設け、十分な話し合いをしている。</p>	<p>○</p> <p>具体的な方針を共有する。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ご利用者の重度化に対応し、事業所でできる範囲の支援を行っている。</p>	<p>主治医や家族、職員と話し合いの場を持ち取り組む。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	他の施設に移る場合は関係者を通じて情報を伝 え、対応していただいている。	○	話し合いに機会も持つ。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	ご利用者への言葉や対応には十分配慮している。 記録に関しては、目の届く所に置いてしまう事 がある。	○	個人情報の取り扱いには注意する。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	ご本人にわかるよう説明をし、できるだけ納得し ていただけるようにしている。	○	自己決定の尊重。
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	ご希望に添えるよう、できる範囲で配慮してい る。	○	その人らしく過ごせるよう支援する。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	事業所に出張してくださる店に依頼している。	○	ご本人の望む店があれば、行けるよう支援する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食は一緒に摂っている。食事の準備は職員が行うが、後片付けはご利用者も手伝って下さる。	○ ご利用者と職員と一緒に調理をする。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご家族に購入していただいた物をお預かりしている。居室に冷蔵庫も用意でき、ご自分で管理されている方もおられる。	○ 預り金があるので、ご本人と買い物に行き、好みの物を購入できるような支援をする。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	周囲に気づかれないように声かけしたり、見守りを行う等して失敗を防いでいる。	○ トイレでの排泄を継続する。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご希望がある場合は、特別な事がない限り入浴していただいている。	○ ご希望に添った時間で入浴する。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々のペースに合わせ、休んでいただく。	○ 時間だからといって、無理に起こしたりしない。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を基に、その日の状態を考慮し、職員と一緒に作業など行う事で楽しみを見つけていただく。	○ 役割を持ち、意欲の向上に努める。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を管理するのが難しい方もおり、全員がお金を管理できる支援はできていない。</p>	○	<p>買い物の際、必要な金額だけでも本人が所持できるような支援をしていきたい。</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩、買い物等、希望があれば職員同行にて可能な限り支援している。また、毎日とはいかないが、職員のほうから外出を働きかける支援に努めている。</p>	○	<p>短時間でも、毎日外に出られるよう努めていきたい。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>希望があった場合、職員間で相談をし実行している。また、ご家族に報告をし協力をあおいでいる。</p>	○	<p>長距離の場所や外泊などといった希望にも、対応できるようにしたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に電話をかけられるよう配慮し、家族の方にも理解していただいている。手紙も希望があれば職員が代筆するといった対応をしている。</p>	○	<p>暑中見舞いや年賀状を出す。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>気軽に訪問していただけるよう、面会時間を決めないようにしている。</p>		<p>面会に来られた際、最近の出来事等をご家族に報告する。</p>
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会を設け、日々の支援に役立てている。</p>	○	<p>身体拘束について正しく理解する。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関に鍵をかけないよう努めている。居室に関してはご本人の意思を尊重し、ご本人に任せている。	○	可能な方であれば、ご本人用のスペアキーを用意したい。
67	○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は見守りにて把握し、夜間は2時間ごとに巡視を行い、利用者の安全を配慮している。		今後も継続していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	その方にとって危険だと思われる物に関しては、原則禁止している。	○	はさみや裁縫用の針等、その方が必要であるならば、危険性を十分に理解し検討していきたい。
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメント委員会を中心に、取り組みを行っている。		個々の状態を、しっかりと把握する。
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応はできているが、定期的な訓練は行っていない。	○	看護師を交えて訓練を行う。
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議の際、参加していただいている地域の皆さんに働きかけている。	○	避難訓練の定期的な実施。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	気付いた事は、速やかにご家族に報告、相談している。	○  起こりうるリスクについて、ご家族に理解していただく。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	少しでも様子が違う場合には、声かけやバイタルチェック等により早期発見に努め、情報漏れがないよう記録に記載する。	常日頃からの健康管理に努める。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに内服薬の説明が入っており、全員が把握できるようになっている。	必要に応じて、ご家族や主治医と相談の場を設ける。
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品や水分の摂取を促し、軽体操等行う事で自然な排便を目指している。	一定期間排便がない場合には、下剤を服用している。
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行い、清潔を保持している。夜間にご本人に了解を得て、義歯を預らせていただいている。	可能な限り、歯磨き等できる事はやっていただく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嫌いな食べ物に関しては栄養士に相談して違うメニューを提供し、盛り付けにも気を配り楽しみを持って食事をしていただいている。水分も好みにあった飲み物を提供している。	栄養不足の方に関しては、栄養補助食品にて対応している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症委員会を設け、掃除のマニュアルや感染対策に努めている。		改善すべき点は、ミーティング時に検討する。
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食洗機の使用、高温消毒、アルコール消毒等にて衛生管理に努めている。		マニュアルに沿って行う。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	デイサービスを中心に、作品を展示したり写真や花などを飾っている。		デイサービスの職員とともに、季節感を演出する。
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や写真をかざるなどしたり、ご利用者が知っているような音楽を流したりしている。	○	ご利用者やご家族からの要望も取り入れ、落ち着いて過ごせる空間づくりを目指したい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには共同テーブルやソファがあり、自由に座れるようにしている。また、畳スペースもある。	○	テーブルや椅子の配置により、皆さんとの空間にいても独りで落ち着けるような居場所をつくる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の家具類は、入居の際お持ちいただいている。</p>	<p>○</p> <p>ご本人にとって馴染みの物を持参していただく。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>常時換気扇を作動し、定期的な空気の入替えを行う。</p>	<p>○</p> <p>空気の乾燥の注意する。</p>
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビング、居室、廊下はバリアフリーになっており、手すりも設置してある。</p>	<p>○</p> <p>目のとどかない部分もあり、安全に関しては十分注意をする。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>過剰な支援を避け、ご本人にとって必要と思われる所のみ支援するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>必要に応じては、張り紙や目印を設置する。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダで花や野菜を育て、ご利用者が視覚的にも楽しめるよう工夫している。</p>	<p>○</p> <p>収穫した野菜を食事の一品に加える。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)